

オンライン開催

第4回

事例研究 - 多文化社会における災害対応 -
「常総水害の経験から考える多文化防災のあり方」

東京都では、東京都防災(語学)ボランティアの方々に対して、防災知識や対応力を高めていただくため、研修を実施しています。今回は公開講座として、第一部では2015年の茨城県常総市の水害について、自身も被災者である講師よりご講演いただきます。第二部では同じく被災経験のある外国人パネリストとともに、災害現場の事例を通じ、多文化共生社会における地域防災の形について考えます。

講師紹介

横田能洋氏 認定NPO法人 茨城 NPO センター・コモンズ代表理事

千葉県出身、茨城大学卒業後、茨城県経営者協会では企業の社会貢献推進などを担当。1998年、NPO法成立を受けて茨城NPOセンターコモンズを仲間と設立し事務局長に転職。様々な市民活動の相談や研修を行うほか地元の常総市に拠点を置き、日系ブラジル人の就職や子の就学支援を始める。2015年に鬼怒川洪水で拠点が被災し、「助け合いセンターjuntos」を立ち上げる。空き家増大、日本人の人口流出と外国籍住民の増加という地域の変化を受け、空き家を7棟改修し多文化保育、コミュニティカフェ、シェアハウスを運営。空き家を活用した多文化共生福祉のまちづくりに取り組む。

パネリスト

ウスイエジロウ氏

ブラジルで大学院を出た後、2005年に25歳で来日。食品工場などで仕事をしながら2007年からSNSで日本で暮らすブラジル人に役立つ情報を発信する活動を開始。2015年の鬼怒川水害ではNPOと連携して被災者支援情報を届ける役割をになった。

藤本ゆりこ氏

1998年に来日し小中高を出て仕事につく中で通訳をするようになり、2018年からコモンズのエデュケーションスタッフとして勤務するほかハローワークでも通訳をしている。ピアサポーターとして様々な相談対応を行っている。

日時

12月12日(木)
14:00~16:00申込
期間11月11日(月)
~12月3日(火)

対象者

東京都防災(語学)ボランティア
外国人の支援に携わる方、本テーマに興味のある方開催
方法

Zoomによるオンライン開催

定員

500名

申込制

申込

右記二次元コード又は
下記 URL よりアクセスしてください。
<https://tech-supportbase.com/bousaivolunteer/>



- 参加希望者が定員を超えた場合、抽選となります。
抽選結果及び研修の参加方法(当選された方のみ)を研修1週間前までにメールにてお知らせします。メールが届かない場合は、事務局までご連絡ください。

- 内容については一部変更となる場合があります。
- 東京都防災(語学)ボランティアの方は、アンケートの提出をもって受講完了といたします。

申込に関するお問い合わせ

東京都防災(語学)ボランティア研修事務局
(ヒューマンアカデミー株式会社内)

☎ 03-5348-2039 ✉ bousai_volunteer@athuman.com

研修内容に関するお問い合わせ

東京都生活文化スポーツ局 都民生活部 地域活動推進課
東京都防災(語学)ボランティア担当

☎ 03-5320-7738 ✉ S1121202@section.metro.tokyo.jp